

## I. 建学の精神・大学の基本理念、使命・目的、大学の個性・特色等

### 1. 建学の精神と基本理念

学校法人天満学園（「本学園」）は創立者である足立喜三郎初代理事長によって、昭和10(1935)年に、建学の精神「教育は徳なり」を教育の理念として、徳の形成、人格の形成こそ教育の原点とする教育研究を推進する学園として創立された。

昭和9(1934)年当時の大阪は、室戸台風が近畿地方を直撃し、死者・行方不明者3,036人、家屋全壊流出4万戸という大被害をもたらした。創立者は、その被害による経済不況が続くなかで、私学独自の教育の重要性を痛感し、人材育成のため、学問にゆかりの深い大阪天満宮の西北約500mの地に学園を創立し現在に至っている。

設置する学校は、太成学院大学、太成学院大学高等学校、太成学院大学中学校、太成学院天満幼稚園、太成学院大学歯科衛生専門学校との5部門ある。大学は昭和62(1987)年に当時大阪府下で唯一の男女共学の経営情報学科を設置する大阪短期大学として開学し、平成10(1998)年に定員の一部を改組転換により四年制大学を開学し、「理論と応用・実践のバランスのとれた実学としての情報教育」を通して「創造的人材」を育成することを目標に、先見性と創造性を養い、問題発見、分析、解決により、経営方針の意思決定までができる人材の育成をめざした経営学部とし、平成15(2003)年には、大阪短期大学を改組し、人間学部（心理学科・人間文化学科）として認可を受け、人間を理解するとはどういうことかを共に考え、人間の心を探究しながら、社会に広く貢献できる人材育成教育をめざした。経営学部・人間学部に教育職員免許法及び施行規則に基づく教員免許課程の認定をうけて前進し続けている。また、平成19(2007)年には看護学部を新設し、更に養護教諭免許課程の認定を受けた。さらに平成24(2012)年には人間学部を3学科（子ども発達学科、健康スポーツ学科、人間心理応用学科）に改編した。

時代とともに教育の充実を図り、「徳の形成、人格の形成こそ、教育の原点である」という教育に対する熱い思いは、今も変わることなく受け継いでいる。

### 2. 大学の使命・目的

本学は、教育基本法及び学校教育法に基づいて、学生の教養及び専門知識を高めるよう努めるとともに、学生の主体的学修態度を助長し、同時に建学の精神に基づいて、学生に偏見のない柔軟な、礼儀正しく思いやりのある人格を育て、もって平和な社会に寄与することを目的とする。

### 3. 大学の個性・特色等

建学の精神「教育は徳なり」の教育理念を基に、社会のニーズに対応した、独自のきめ細かな実践教育で学生をバックアップする確かな知識や技術の修得、そして資格の取得をサポートしていく。「個性」を育み、教員が学生の可能性を発見し、伸ばすための「学び」の達成感を得る10のサポート体制をとっている（大学案内）。

#### A. 資格・免許取得支援

学生の“未来の可能性”を広げるために資格取得をサポートしている。

「資格・就職支援センター」では学生一人ひとりの将来の目標や希望をかなえるため、

多彩な資格対策講座を設置している。卒業後、希望している職業や業界に進むための大きなポイントとなる資格取得を様々な講座を通じて支援する。また、「資格・就職支援センター」が設けた講座の受講により取得した資格は専門教育科目の単位として認定(人間学部・経営学部対象)。さらに資格取得者には合格奨励金の支給制度も設けている。このような本学ならではの充実したサポート体制は、学生たちの将来の目標や希望をかなえるための大きな後押しとなる。

#### **イ. 新入生導入教育宿泊研修**

宿泊研修で学生生活の不安を解消し、それを大学で学ぶ意欲に変える。

本学では入学直後に「新入生導入教育宿泊研修」を実施し、大学生として何をどのように学び、取り組んでいくのかを学ぶためのプログラムを組み込んで研修を行う。そうすることで入学後の大学生活の不安解消になり、友情を育むこともできる。

#### **ウ. 太成学院大学の学び**

社会で即戦力として活躍するために資格教育、各学部の専門教育も少人数で指導する。

本学の学びは、幅広い視野と社会人としての基本的な知識を修得する「教養教育」、段階的に各分野の知識を深める「専門教育」、学びを実践力へと高める「資格(取得)教育」の3つから成り立っている。この教育体制により、社会に通用する即戦力と、多角的視点、豊かな人間性を備えた人材を育成している。また、小規模大学としてのメリットを活かし、学生一人ひとりの個性や学びの進捗を把握しながら指導にあたる少人数教育を導入している。一般の大学では基礎から専門教育へ移る時に授業内容が不連続になり、躓く要因になるが、本学では専門・応用科目の教員が基礎・基本科目から指導するため、学生は授業を段階的に理解できる。わからないことがあった場合にも、空き時間を利用した「リメディアルクラス」(希望者制)で教員が指導し、その週のうちに解決することができる。

#### **エ. フィールドワーク授業**

学外で学びの達成感が得られるように実践で学ぶ。

学びの理解を深め、実践力を身につけるための、フィールドワークを数多く用意している。例えば、本学周辺にある日本最古の国道「竹内街道」を散策することで、歴史に対する理解を深めるものや、住宅展示場を見学し、快適な暮らしを目指した家づくりの実際を知るもの、ワイナリーで、“発酵”が人間生活に与える恩恵を知るもの、さらには、関西秋の三大祭りのひとつである「上野天神祭」に参加し、日本の伝統文化を肌で感じるものなど、様々なフィールドワークがある。また本学では、大学の正規のカリキュラムとして企業体験をする、コーオプ実習を実施している。学生ではあるが責任を任せ、即戦力として就労し、リアルな体験を積むことで、社会人としての自覚が生まれる。

#### **オ. アセンブリ・アワー／アドバイザー教員**

アドバイザー教員が、大学生活スタートから4年間の学生生活と就職の取り組みまでを完全にサポートする。

講義の受講方法などの学びに関することや、生活面での不安や悩みにも、アドバイザー教員が相談に応じ、個別にサポートを行う。クラス毎に1人のアドバイザー教員を置き、

日頃から学生とコミュニケーションをとるとともに、個別相談にも対応する。

アドバイザー教員からの指導の場として設けられているのが「アSEMBリ・アワー」である。週に1度、アドバイザー教員が修学上重要な連絡や学生生活に関するアドバイスをするための必修科目である。就職活動に関するプログラムも組み込まれており、4年間を通じて確実に就職指導を受けることができる。

#### **カ. 太成学院大学授業支援システム TGU.net (1Gbps 光速 LAN) ・ TGU ポケットネット (無線 LAN)**

学生全員に iPod touch と IC 学生証をセットで配付し、学生の学ぶ意欲に応える。

本学では、授業支援システムが完備され、より便利で快適なキャンパスライフを実現した。

まず、全授業で IC カード学生証による出席確認を導入。学生の状況を瞬時に把握し、適切にサポートするために学生と教員を密接につなぐ役割を果たしている。この多機能 IC カード学生証には電子マネー「Edy」も搭載され、キャンパス内のコンビニエンスストアやキャッシュレス自動販売機などですでに利用されている。

また、本学独自の学生・教員の個人専用ポータルシステム「MY TGU.net」は、履修登録、時間割、成績照会、求人票検索、休講情報の確認などが行えるほか、教員が提出課題や授業資料、学生からの質問とそれに対する回答を掲示するなど多彩な機能を備えている。無線 LAN ポイントを学内各所に設置し、学内どこからでもインターネット接続が可能である。学生が時間や場所にとらわれず主体的に学べる環境を整え、学修意欲をさらに高めることができる。

さらに、アメリカ・アップル社のマルチメディア端末 iPod touch を学生全員に配付し、スピーディーな情報共有のため授業で活用している。このシステムは文部科学省でも採択され、本学ではシステムを一層進化させるための方法を検討・推進している。

#### **キ. 教職・教育支援センター**

「教職・教育支援センター」で「大学の学び」を知り、教師への夢を入学直後からサポートする。

「教職・教育支援センター」では、入学時に戸惑いを感じている学生を支援し、4年間の充実した教員養成課程を送るためのサポートをする。今までの知識の再修得やレポートの書き方、健全な学生生活リズムの構築など多岐にわたり、学びの質を高めるために支援を行なっていく。また、本学は中学校・高等学校教諭を目指す学生が多いことが特長である。そうした学生の夢をかなえるために、教員採用試験対策や面接対策など、あらゆる面から支援していく。大学での学びがより充実し、達成感を味わえるように「わかる授業」の積み重ねで「わかる授業ができる教員」を育成する。センター員として元教員が、実務経験を基に指導する。

#### **ク. 教員採用試験対策講座**

筆記試験から人物評価まで、多彩な教員採用試験対策講座を実施。

本学では、教職課程を設置しており、毎年教員を目指す学生が教員免許を取得するために、数多く入学している。平成 23(2011)年度の採用試験では 10 倍の難関の中、合格者を輩出。大阪府 2 名、兵庫県 1 名、奈良県 1 名の合計 4 名が試験を突破した。また、平成 24(2012)年度の採用試験でも 11.2 倍の難関を見事突破し、1 名が合格。平成 24

(2012)年の卒業生のうち教員志望者の70%が教壇に立ち、中学校・高等学校・支援学校の「保健体育科」講師として活躍中である。これは、本人の日々の努力と、それを支える教員のマンツーマン指導がもたらした結果である。筆記試験や、重視される傾向にある人物評価の対策にも重点を置き、充実した内容の対策講座を実施して、教員を目指す学生を全面的にバックアップしている。

#### **ケ. 就職支援**

本学独自の4年間の完全就活プログラムで、教員、職員、外部講師が多方面から支援している。

本学では、1年次からキャリア教育を実施し、段階的な進路支援を展開している。数多く開催される就職セミナーやガイダンスの中でも、「学内企業説明会」は特に学生の人気を集めている。様々な業種の企業が本学を訪れ、学生は直接質問することができる。進路を見極める絶好の機会となり、この説明会から採用につながったケースも少なくない。さらに本学では就職に有利となる多彩な資格を取得するための講座も用意し、個々が希望の進路をかなえられるよう、支援している。

#### **コ. 「産・官・学」連携した実践授業**

地元企業と協力して、地域の経済活性化を図ると同時に、本学の実学教育を推し進める取り組みを行っている。平成21(2009)年度から開講された「産業・観光特論」は人気を集めている(基準3参照)。講義の最初には、大阪府商工会の方が大阪の産業・観光について説明する。そして、地元企業や観光団体の方が本学を訪れ、産業や観光の現状を語り、講義の翌週には各社を見学している。大学での学びが、社会でどのように活かせるのか肌で感じながら、理解を深めていく。このようなことが可能になったのは、経済産業省の「中小企業応援センター」事業に、大阪府商工会連合会が当事業の採択を受け、本学もそのパートナーと認定されたためである。